

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証結果一覧

No	事業名	事業概要	対 象	実 績	効果・検証	総事業費 (円)	交付金 充当額(円)	事業期間	
								開始日	完了日
1	和木町子育て応援給付金給付事業	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、子育て世帯に対する生活支援の一環として給付金を支給する。 ○中学生以下・高校生・在宅大学生等 10,000円/人 ○ひとり親世帯 20,000円/世帯 ○自宅外大学生等 30,000円/人	15歳未満の児童、高校・高等専門学校・高等専修学校在籍する者、専門学校・短大・大学・大学院に在籍する者、児童扶養手当法第3条に定める児童	○中学生以下給付件数 1,021人 ○ひとり親世帯給付件数 75世帯 ○高校生給付件数 149人 ○在宅大学生等給付件数 70人 ○自宅外大学生等給付件数 52人	給付金を支給することにより、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯の生活の一助となった。 また、児童手当の支払いのない高校生及びアルバイトが減少した学生等に対し経済的な支援が行われ、学業専念の一助となった。	15,468,723	14,473,248	R2.5.18	R2.12.31
2	伝染病予防事業	感染症対策物品を確保し、町内及び公共施設(避難所設置時を含む)での感染拡大を予防する。	妊婦、集団検診受診者、避難所利用者、備蓄用	○マスク整備数 10,000枚 ○手指消毒用アルコール整備数 100ℓ ○体温計整備数 20台 ○防護服整備数 50着 ○飛沫防止用品等一式	全妊婦と集団検診受診者や公共施設利用者の未着用者へマスク配布、公共施設入口での手指アルコール消毒の徹底、飛沫防護シートの活用等、感染対策を注意喚起することができた。	1,008,155	1,000,000	R2.4.1	R3.3.31
3	伝染病予防事業	感染症対策物品を確保し、町内及び公共施設(避難所設置時を含む)での感染拡大を予防する。	妊婦、集団検診受診者、避難所利用者、備蓄用	○マスク整備数 9,600枚 ○手指消毒用アルコール整備数 40ℓ ○体温計整備数 1台 ○フェイスシールド整備数 250枚	全妊婦と集団検診受診者や公共施設利用者の未着用者へマスク配布、公共施設入口での手指アルコール消毒の徹底、保健相談センター入口の自動体温計設置等、感染対策を注意喚起することができた。	638,165	601,000	R2.4.1	R3.3.31
4	新型コロナウイルス感染症対策事業	新型コロナウイルス感染症の影響により事業状況が悪化した商工業者等を支援するため、補助金、給付金を交付する。また、雇用調整助成金の支給を受けた際に、社会保険労務士への手続き代行費用を補助する。	商工業者	○飲食店業経営支援補助金支援件数 9件 ○商工業経営応援給付金支援件数 26件 ○商工会受付事務委託件数 26件 ○事業継続応援給付金支援件数 39件 ○雇用調整助成金申請支援件数 2件	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた町内中小企業事業者等の事業継続の一助となった。	7,343,693	7,244,000	R2.4.22	R3.3.31
5	中小企業対策事業	新型コロナウイルス感染症の影響により事業状況が悪化した商工業者を支援するため、借入金に係る利子に相当する額を、現状の補助率を1/2から全額支給に拡大して交付する。	商工業者	○支給件数 16件	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた町内中小企業事業者等の資金繰りの一助となった。	264,009	264,009	R2.6.12	R3.3.31
6	小学校教育振興事業	GIGAスクール構想のさらなる加速・強化等を図り、新たな時代に相応しい教育を実現するため、児童用タブレット端末の1人1台分整備を実施する。	和木小学校	○児童用タブレット端末整備台数(地方単独事業分) 142台	1人1台の児童用端末が整備できたことにより、ICTを活用した学習環境を整えることができた。 また、新型コロナウイルス等による臨時休校に対応する体制づくりを加速させることができた。	7,700,660	7,700,660	R3.1.29	R3.3.11
7	中学校教育振興事業	GIGAスクール構想のさらなる加速・強化等を図り、新たな時代に相応しい教育を実現するため、生徒用タブレット端末の1人1台分整備を実施する。	和木中学校	○生徒用タブレット端末整備台数(地方単独事業分) 64台	1人1台の生徒用端末が整備できたことにより、ICTを活用した学習環境を整えることができた。 また、新型コロナウイルス等による臨時休校に対応する体制づくりを加速させることができた。	3,470,720	3,470,720	R3.1.29	R3.3.11
8	消防防災一般事業	コロナ禍における災害発生時の避難所生活の感染症対策及び感染拡大防止等の必需物品の購入により、安心して生活できる環境を確保する。	避難所	○テント整備数 21張 ○備蓄用液体ミルク整備数 120缶、5箱 ○避難所養生クッションマット等整備数 14枚 ○ブルーシート整備数 11枚 ○ヘルメット整備数 50個 ○備蓄用食料整備数 7箱	コロナ禍における避難所への安心・安全と滞在し易い環境改善(備蓄の品目・数量の拡充を含む)により、避難所に対する嫌悪感等の意識を払拭し、積極避難への意識を向上できた。※本事業により整備した環境改善資材は、ケーブルテレビ等で住民広報を実施している。	737,473	737,473	R2.6.1	R3.2.28
9	情報発信強化事業	新型コロナウイルス等の情報発信の手段として、ホームページを更新し、スマートフォンでも閲覧でき、アクセシビリティを向上させることで、情報発信の強化を行う。	和木町	○スマートフォン対応型のホームページに改修	スマートフォン対応型のホームページに改修することにより、パソコンを持たない方や、外出されている方でも、不便なく和木町のホームページを閲覧できるようになった。	3,883,880	3,883,880	R2.6.8	R2.12.9

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証結果一覧

No	事業名	事業概要	対 象	実 績	効果・検証	総事業費 (円)	交付金 充当額(円)	事業期間	
								開始日	完了日
10	CATV情報発信強化事業	町行政番組の自動送出システムを更新することにより、新型コロナウイルスに関する情報や河川水位情報、防災情報、避難情報等、リアルタイムでの発信が可能となる。また、災害情報や新型コロナウイルス関連情報等を町民へ提供するための機器を整備することで、情報発信の強化を図る。	和木町	○番組自動送出システム更新 ○文字放送システム更新 ○情報発信強化用機器(カメラ)整備数 1台 【繰越明許】 ○情報発信強化用機器(ビデオカメラ)整備数 1台	番組自動送出システム及び文字放送システムを更新することにより、リアルタイムで新型コロナウイルス感染症の情報や、災害情報などの緊急性の高い情報を随時更新可能となった。	18,038,570	17,738,570	R2.12.14	R3.9.24
11	Web会議システム導入事業	新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、Web会議システムを導入する。	和木町	○Web会議システムの導入(ノートパソコン1台、周辺機器を含む)	Web会議システムの導入により、感染リスクのない状態で外部や遠方の相手との会議等が実施可能となった。	399,300	399,300	R2.10.8	R2.10.22
12	体温検知システム導入事業	災害時の避難所開設時及び各種イベント・講習会等実施時に避難者(来場者)の体温を容易に検知可能なシステム(サーマルタブレット)を導入し、新型コロナウイルスの感染予防措置を図る。	和木町	○体温計測用サーマルタブレット整備数 2台	各種イベント・講習会等実施時に来場者の体温を測定することができ、新型コロナウイルスの感染予防措置に大きく貢献することができた。	512,600	512,600	R2.10.9	R2.10.28
13	キャンペーンCM製作事業	地方テレビ放送局の地域応援企画「みんなでがんばろう やまぐち」キャンペーンを活用し、蜂ヶ峯にぎわい施設等のCMを制作、放送することで、地域への誘客を通じた地域活性化につなげる。	和木町	○キャンペーンCM制作 ○キャンペーンCM放送(15秒30回、30秒5回)	令和3年4月にオープンした蜂ヶ峯総合公園のBee＋エリアを、民放キー局の放送を通じて県内外に周知・宣伝することができた。	550,000	550,000	R2.1.12	R3.3.31
14	おうちで花火事業	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で外出自粛の中、3密回避のため日時等を公表せずにサプライズ花火を打ち上げ、自宅から見て楽しんでもらう。また、町公式フェイスブック、町ホームページに当日の映像を流す。	大竹商工会議所	○花火打ち上げ箇所 2箇所	新型コロナウイルス感染症の影響で、近隣の花火大会が中止となる中、サプライズ花火を打ち上げることで、町民の皆さまに束の間の喜びや癒しを感じていただくことができた。	150,000	150,000	R2.7.6	R2.10.8
15	選挙事務感染予防対策事業	選挙時に選挙人との会話の際の飛沫防止対策のため、受付に透明フィルムを設置する。	選挙管理委員会	○飛沫ブロッカー整備数 6台 ○飛沫ブロッカー(卓上用)整備数 1台	選挙人の本人確認や投票用紙交付時の際に、説明及び聞き取りが必要であるが、本対策により、会話時の飛沫防止を行うことで、相互の安心、安全を確保し、円滑かつ適正な選挙執行に効果があった。	189,200	189,200	R2.10.13	R2.12.10
16	消防防災一般事業	洪水・津波等災害時の庁舎代替施設となる蜂ヶ峯にぎわい施設交流棟において行政事務を行うこととなるが、新型コロナウイルス感染症防止のための検査機器類の充電や換気、空気清浄機器が円滑に行えること目的として、屋外端子に接続する停電時の外部電源として、可搬型発電機を配備する。	蜂ヶ峯総合公園Bee＋エリア	○可搬型発電機整備数 1台	災害時等による本庁舎の機能喪失時における代替え庁舎として、本発電機を運用することにより災害対策本部の運営に必要な必要最小限の電力を確保でき、町の災害応急対応の継続性を確保することができた。	495,000	495,000	R2.10.1	R3.1.26
17	消防防災一般事業	コロナ禍における災害時の避難所において、暑さ対策として壁掛型ルームエアコンを設置し、危機管理監が制作した間仕切りと併用することで3密対策を図る。	避難所	○壁掛型ルームエアコン整備台数 1台	空調設備が皆無の体育館(アリーナ)内に区画したエリアにおける冷・暖房処置、室外機及び送風機による施設内換気による感染症対策により、安心・安全で滞在し易い避難所環境を確保することができた。	79,800	79,000	R2.10.1	R2.11.27
18	消防防災一般事業	新型コロナウイルス感染症に対応した避難所設営のために、蜂ヶ峯の県防災倉庫に保管している発電機(70kg)や間仕切り等の重量物を、災害発生時に円滑かつ安全にトラックに積載するためハンドフォークリフトを整備する。	防災倉庫	○ハンドフォークリフト整備数 1台	避難所の開設・運営等に必要な重量物の積載・車下、町の物資拠点での災害要支援物資等の受入・配分における作業効率の向上、職員等の負担軽減を図ることができた。	162,800	162,000	R2.10.1	R3.1.26

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証結果一覧

No	事業名	事業概要	対 象	実 績	効果・検証	総事業費 (円)	交付金 充当額(円)	事業期間	
								開始日	完了日
19	消防防災一般事業	コロナ感染症対応の避難所において、各避難所の受け入れ可能者数や他の避難所の状況を迅速に表示し、避難行動の円滑化を図るとともに、受付窓口での人と人との接触機会を軽減するため、電子黒板を整備する。	役場庁舎、避難所	○電子黒板整備数 3台	災害対策本部と各避難所の運営本部間における画像情報等を通じて避難者に関する情報共有を図ることができ、感染症対策下における受付職員の安全化、負担軽減を図ることができた。	3,832,264	3,832,264	R2.10.1	R3.1.18
20	消防防災一般事業	コロナ禍での災害発生時における避難所で、被災者への情報提供等の充実を図るため、スマートフォン等の充電装置を配備する。	避難所	○避難所用スマホ充電装置、PC充電装置整備数 5台	停電下における避難所での避難者の継続的な通信を確保するための充電装置を整備することにより、避難住民家族等との継続的な安否等の確認による安心とともに、特設公衆電話、発電機コンセント等への過度の密集を防止することによる安全を確保することができた。	934,604	934,604	R2.9.28	R2.10.16
21	電気自動車導入事業	電気自動車導入により、温室効果ガス排出の抑制を図るとともに、3密を避けるため避難所の分散化を図る必要がある。避難所数が増えるため、車両を増やすことで避難所への移動時の職員の3密を回避する。また、災害時の非常用電源としても活用し、住民の安全安心を確保する。	保健相談センター	○電気自動車整備数 1台	電気自動車の導入により、災害時における非常用電源の確保や、通常使用時における温室効果ガス排出の抑制につながっている。	2,500,000	2,330,000	R2.11.19	R3.3.3
22	集会所トイレ改修事業	飛沫拡散防止のため、町内集会所の和式トイレを洋式トイレに改修する。	集会所	○改修箇所数 8箇所	和式トイレを洋式トイレに改修することで、衛生面が向上し、感染リスクを低減することができた。	4,014,945	4,014,945	R2.10.22	R3.3.3
23	庁舎トイレ改修事業	飛沫拡散防止のため、役場庁舎の和式トイレを洋式トイレに改修する。	役場庁舎	○改修箇所数 6箇所	和式トイレを洋式トイレに改修することで、衛生面が向上し、感染リスクを低減することができた。	3,000,000	3,000,000	R2.12.21	R3.2.17
24	和木駅トイレ改修事業	飛沫拡散防止のため、和木駅の和式トイレを洋式トイレに改修する。	JR和木駅	○改修箇所数 2箇所	和式トイレを洋式トイレに改修することで、衛生面が向上し、感染リスクを低減することができた。	998,910	998,910	R2.10.26	R2.12.3
25	指定管理者支援事業	新型コロナウイルス感染拡大の影響で収入の減少した指定管理者を支援する。(支援金の上限:100万円)	指定管理者	○支援事業者数 1事業者	利用者減少により、指定管理で委託している施設関連の収入が減少している指定管理者を支援をすることができた。	1,000,000	1,000,000	R2.9.30	R2.11.12
26	和木駅交流プラザ空調設備更新事業	新型コロナウイルス感染予防のために換気を頻繁に行う必要があり、現在の機能低下した空調機では室温管理が不十分なため、空調機を更新する。	JR和木駅	○空調機更新数 1台	コロナ禍において、換気を行いながらも十分な冷暖房の効果を得ることができている。	814,000	814,000	R2.9.3	R2.9.18
27	飛沫防止パネル設置事業	新型コロナウイルス感染防止のため、役場庁舎窓口及び議場演台に飛沫防止パネルを設置する。	役場庁舎	○飛沫防止パネル設置箇所 役場庁舎1階窓口、議場演台	役場庁舎窓口及び議場演台に飛沫防止パネルを設置することで、飛沫感染リスクの低減につながっている。	644,875	644,875	R3.1.19	R3.3.17

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証結果一覧

No	事業名	事業概要	対 象	実 績	効果・検証	総事業費 (円)	交付金 充当額(円)	事業期間	
								開始日	完了日
28	体育センター高圧変圧器取替事業	コロナ禍における災害発生時に開設する避難所(体育センター)の高圧変圧器を取替え、避難所の安定的な電気供給を図る。	体育センター	○高圧変圧器更新数 1箇所	幸い、避難所を開設する機会はなかったが、安定的な電気供給を行えている。	1,430,000	1,430,000	R2.11.5	R2.12.23
29	高齢者応援事業	新型コロナウイルス感染拡大防止のため「敬老会」が中止となったため、高齢者に対し和木町共通商品券(2,000円)を配布することで長寿をお祝いするとともに、新型コロナウイルス感染症対策によって疲弊した町内事業所の活性化を図る。	町内在住の令和3年4月1日時点で73歳以上の高齢者	○対象者数 1,089名	高齢者への感染予防対策経費の一助となり、感染予防による外出控、購入控による町内業者の疲弊を軽減する一助となった。	2,622,904	2,622,904	R2.8.1	R2.10.31
30	伝染病予防事業	新型コロナウイルス感染症対策に必要な物品について、社会福祉施設等の安全な運営及び利用者が安心してサービスを受給できるよう、マスク、消毒液等を町から支給する。	町内障害福祉サービス事業所、高齢者福祉施設、社会福祉協議会	○支給事業者数 3事業者	供給不足に陥っていた資材を提供することにより、社会福祉団体等の職員等の感染予防の一助となった。	324,060	324,060	R2.10.1	R2.12.31
31	和木町総合福祉会館トイレ改修事業	飛沫拡散防止のため、総合福祉会館の和式トイレを洋式トイレに改修する。	総合福祉会館	○改修箇所数 4箇所	和式トイレを洋式トイレに改修することで、衛生面が向上し、感染リスクを低減することができた。	2,000,000	2,000,000	R2.12.21	R3.3.31
32	社会福祉事業継続応援事業	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設設備の改良改善、緊急小口融資相談事業などの増加や通常の福祉事業の変更・縮小化により疲弊した社会福祉事業者に対し支援金を支給することにより、感染防止対策費の増加及び感染症対策終結後の通常事業復旧準備の支援の一助とする。	社会福祉協議会、ふれあい工房クローバー	○支援事業者数 2事業者	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた社会福祉団体等の資金繰りの一助となった。	921,000	921,000	R2.8.18	R2.12.21
33	伝染病予防事業	新型コロナウイルス感染予防のため、感染症対策物品を衛生的かつ取り出しやすく保管するため保管庫を購入する。	保健相談センター	○保管庫整備数 2台	マスク、アルコール、防護服等の感染対策物品を衛生的に取り出しやすく保管することに役立った。月末在庫確認が容易になり、使用期限に留意した物品管理にも役立っている。	117,590	117,590	R2.8.3	R2.8.25
34	伝染病予防事業	脱炭素社会を促進するため、マスク着用等の感染予防対策とエコロジーに留意し、訪問指導に活用する。	保健相談センター	○電動アシスト自転車整備数 1台	保健師の町内訪問活動に利用。猛暑日のマスク着用でも移動が容易になった。	118,800	118,800	R2.9.28	R2.11.13
35	新生児特別定額給付金交付事業	国の特別定額給付金の基準日の翌日以降に生まれ、新たに町民となる子どもに対して10万円の給付金を支給し、経済的な支援を行うことにより、子どもの健やかな成長を応援する。	令和2年4月28日から令和3年4月1日に生まれた子の保護者で、和木町妊産期特別定額給付金の給付を受けていない者	○給付件数 30人	新生児の健やかな成長と新型コロナウイルス感染予防対策の一助となった	3,000,000	3,000,000	R2.8.25	R3.3.31
36	予防接種事業	新型コロナウイルス感染症と類似する症状のインフルエンザについて、インフルエンザの予防接種を促進し、感染予防、感染抑制を図ることで同時流行を回避するとともに、医療機関への患者の集中を抑え医療従事者の負担軽減を図る。	予防接種法による定期接種対象の高齢者及び他事業での助成対象者を除く全町民	○助成件数(一般) 962人 ○助成件数(生活保護) 16人	令和2年度は町内医療機関でも、インフルエンザ発生が無く、発熱患者に対応する医療機関の負担軽減につながった。	2,469,000	2,469,000	R2.10.1	R3.2.28

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証結果一覧

No	事業名	事業概要	対 象	実 績	効果・検証	総事業費 (円)	交付金 充当額(円)	事業期間	
								開始日	完了日
37	子ども・子育て支援交付金	子ども・子育て支援交付金の新型コロナウイルス自粛要請の保育料減免及び、学校休業中の放課後児童クラブ開設の件費補助部分で町費負担部分を補填する。	放課後児童クラブ	○対象施設数 1施設	午前中から開設した放課後児童クラブにより、学校休業中の児童の居場所の確保を行うことができた。	347,993	82,000	R2.4.1	R2.5.30
38	学校保健特別対策事業費補助金	新型コロナウイルス感染症対策の国庫補助である学校保健特別対策事業補助金(感染症対策のためのマスク等購入事業)の町費負担部分に充当する。	和木小学校、和木中学校	○和木小学校、和木中学校における感染症予防物品の購入を支援。	アルコール等の物品を購入することができ、感染拡大防止に寄与した。	211,371	105,000	R2.4.15	R3.2.1
39	学校保健特別対策事業費補助金	①新型コロナウイルス感染症対策の国庫補助である学校保健特別対策事業補助金(特別支援学校スクールバス感染症対策支援事業及び学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業に限る)の町負担部分に充当する。 ②特別支援学校スクールバス感染症対策支援事業及び学校再開に伴う新型コロナウイルス感染症対策・学習保障等に係る支援を行う。	和木小学校、和木中学校	○和木小学校、和木中学校におけるスクールバスの感染症対策を支援。	学校における、感染拡大防止用品やソーシャルディスタンスを保ちながらの学習等に大きく寄与した。	2,505,504	1,249,000	R2.5.13	R3.2.15
40	教育委員会事務局一般事業	新型コロナウイルス感染防止のため、修学旅行、校外学習のバスを各行事ごとに追加で1台借り上げ、感染予防として児童、生徒の密集を避け、安全に学習を行うための支援を行う。	和木小学校、和木中学校	○バス借上追加台数 4台	バスの乗車人数を分散化させることにより、感染拡大のリスクを軽減することができた。	563,730	563,730	R2.9.24	R2.10.20
41	教育委員会事務局一般事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4～5月に学校が休業になったことに伴い、平年なら夏期休業中の最も暑さが厳しい時期に授業を実施することになった。年度初めからの長期休業により体力の備わっていない児童、生徒の通学手段を確保するためにバスを運行し、学習機会の保障を図る。	和木小学校、和木中学校	○臨時バス運行回数 42回	児童生徒全員が、安全に通学できることで、学校休業による授業実数の不足を解消し、学習機会を保障することができた。	221,760	221,760	R2.7.6	R2.9.30
42	小学校管理運営事業	新型コロナウイルスにより急遽学校休業を行う場合の課題配布、連絡事項等の印刷が課題となっている。第二波に備えて1台印刷機を追加することにより迅速かつ確実に課題等が配布を行い学習保障を行う。	和木小学校	○印刷機追加整備台数 1台	感染拡大により、急遽学校が休業となる際にも、課題や連絡事項等の準備を迅速に行える体制整備に大きく寄与した。	935,000	935,000	R2.10.22	R2.12.25
43	小学校管理運営事業	小学校における耳鼻科健診でコロナウイルス感染拡大防止のために、児童数分の耳鏡を調達し、感染を防止する。	和木小学校	○耳鏡購入数 450個	耳鏡を児童分用意できたことにより、耳鼻科検診の時間を短縮し、また接触感染によるリスクを軽減することができた。	198,000	198,000	R2.10.15	R2.10.30
44	中学校管理運営事業	中学校における耳鼻科健診でコロナウイルス感染拡大防止のために、児童数分の耳鏡を調達し、感染を防止する。	和木中学校	○耳鏡購入数 200個	耳鏡を生徒分用意できたことにより、耳鼻科検診の時間を短縮し、また接触感染によるリスクを軽減することができた。	88,000	88,000	R2.10.1	R2.10.30
45	小学校管理運営事業	新型コロナウイルス感染拡大防止のため物品を購入し感染症対策を行う。	和木小学校	○振り子式スプレー整備数 10個 ○タッチレスディスペンサー整備数 12台 ○スタンダードスクリーン整備数 10枚 ○手指消毒液整備数 10個 ○その他衛生用品購入	消毒の徹底により、感染拡大を防止することができた。	500,549	500,549	R2.10.9	R3.3.30

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証結果一覧

No	事業名	事業概要	対 象	実 績	効果・検証	総事業費 (円)	交付金 充当額(円)	事業期間	
								開始日	完了日
46	小学校教育振興事業	GIGAスクール構想のさらなる加速・強化等を図り、新たな時代に相応しい教育を実現するため、児童用タブレット端末の1人1台分整備を実施する。	和木小学校	○児童用タブレット端末整備台数(国庫補助上乗せ分) 285台	1人1台の児童用端末が整備できたことにより、ICTを活用した学習環境を整えることができた。 また、新型コロナウイルス等による臨時休校に対応する体制づくりを加速させることができた。	2,633,400	2,633,400	R3.3.9	R3.3.11
47	中学校教育振興事業	GIGAスクール構想のさらなる加速・強化等を図り、新たな時代に相応しい教育を実現するため、生徒用タブレット端末の1人1台分整備を実施する。	和木中学校	○生徒用タブレット端末整備台数(国庫補助上乗せ分) 128台	1人1台の児童用端末が整備できたことにより、ICTを活用した学習環境を整えることができた。 また、新型コロナウイルス等による臨時休校に対応する体制づくりを加速させることができた。	1,182,720	1,182,720	R3.3.9	R3.3.11
48	小学校教育振興事業	GIGAスクール構想のさらなる加速・強化等を図り、新たな時代に相応しい教育を実現するため、教員用タブレット端末の整備を実施する。	和木小学校	○教員用タブレット端末整備台数 19台	教員用端末を整備したことにより、児童用1人1台端末の活用及び新型コロナウイルス等による臨時休校時の対応体制を強化・加速することができた。	1,030,370	1,030,370	R3.2.16	R3.3.11
49	中学校教育振興事業	GIGAスクール構想のさらなる加速・強化等を図り、新たな時代に相応しい教育を実現するため、教員用タブレット端末の整備を実施する。	和木中学校	○教員用タブレット端末整備台数 8台	教員用端末を整備したことにより、生徒用1人1台端末の活用及び新型コロナウイルス等による臨時休校時の対応体制を強化・加速することができた。	433,840	433,840	R3.2.22	R3.3.11
50	教育委員会事務局一般事業	GIGAスクール構想のさらなる加速・強化等を図り、新たな時代に相応しい教育を実現するため、研修・指導等を行う立場の指導主事及び社教主事のタブレット端末の整備を実施する。	教育委員会	○教員用タブレット端末整備台数 2台	学校に整備した1人1台端末の活用及び新型コロナウイルス等による臨時休校時の対応体制を強化・加速することができた。	108,460	108,460	R3.2.22	R3.3.11
51	文化会館ポスタープリンター購入事業	大型プリンターを導入することで、コロナウイルス第2波、第3波が到来した場合や各種イベント開催時において情報発信の強化を図り、コロナに強い社会環境整備を目的とする。	文化会館	○ポスタープリンター整備台数 1台	コロナウイルス感染拡大防止にかかる臨時休館案内や避難所等のお知らせなどが、大きく分かりやすく印刷ができ、コロナ禍での注意事項を周知することができた。	1,012,000	1,012,000	R2.12.16	R3.3.15
52	文化会館階段手摺設置事業	階段に手すりを設置し、高齢者等が2階の各部屋も利用しやすくして、ゆとりあるスペース確保につなげることで公共施設の3密を防ぐことを目的とする。併せて手摺に「2m間隔をあけてご利用ください」との文言を入れることで、ソーシャルディスタンスの確保につなげる。	文化会館	○文化会館の階段に手すりを設置	階段に手すりを設置することで、年配者の2階の部屋の利用が可能となり、使用できる部屋数が増えたことで、各部屋の利用人数を減らすことで密の状態を防ぎ、感染リスクを軽減することができた。	247,500	247,500	R2.11.27	R3.1.15
53	文化会館ホワイエ椅子設置事業	公共施設の飛沫拡散防止や3密防止のため、コンパクトかつ持ち運びが容易で、消毒が簡単にできる椅子を設置することで、周囲との距離を保ちながら、密接や密集を気にせず、ゆつくりくつろげる空間づくりを目的とする。	文化会館	○椅子整備数 20脚	コンパクトで持ち運びが容易な椅子を購入することで、イベント規模や感染状況を考慮して、椅子の数や配置を調整することができ、利用者の適度な距離を保つことで、感染リスクを軽減することができた。	1,070,894	1,070,894	R2.12.16	R3.1.26
54	文化会館トイレ改修事業	飛沫拡散防止及び高齢者や利用者等が利用しやすくするために、文化会館の和式トイレを洋式トイレに改修し、コロナに強い社会環境整備を目指す。	文化会館	○改修箇所数 10箇所	従前は、少数の洋式トイレに利用者が集中していたが、既存の和式トイレを改修し、ウイルス拡散防止に有効な蓋付の洋式トイレを多数設置したことで、利用者が便器を分散して使用するようになり、衛生面が向上し、感染リスクを軽減することができた。	5,830,000	5,830,000	R2.11.4	R3.3.3

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証結果一覧

No	事業名	事業概要	対 象	実 績	効果・検証	総事業費 (円)	交付金 充当額(円)	事業期間	
								開始日	完了日
55	体育センタースポットクーラー設置事業	3密を避けるため、避難所として広いスペースが必要となる。体育センターアリーナの活用頻度が高まることが想定され、現状、冷房設備がないため、避難所開設時の暑さ対策としてスポットクーラーを設置し、避難生活の安全な環境を確保する。	体育センター	○スポットクーラー整備数 3台	3密対策により収容人数を分散させるため体育センターを避難所として開設した際に、スポットクーラーを導入したことで、避難者の熱中症対策を講じる体制ができた。	412,500	412,500	R2.12.11	R3.1.25
56	体育センタートイレ改修事業	飛沫拡散防止のため、体育センターの和式トイレを洋式トイレに改修する。	体育センター	○改修箇所数 2箇所	和式トイレを洋式トイレに改修することで、衛生面が向上し、感染リスクを低減することができた。	1,595,000	1,595,000	R2.10.1	R3.2.9
57	給食センター整備事業	児童生徒に安全な給食を提供するため、かつ新型コロナウイルスの第2波・第3波に対応できるよう、より多くの食材が冷蔵保存可能な冷蔵庫が必要であり、長期休業後の学校再開時に安定的に食材を提供するため、保冷能力が高く長期保存できる冷蔵庫を整備する。	給食センター	○プレハブ冷蔵庫整備数 1台	新型コロナウイルス感染症対策で臨時休業になっても、プレハブ冷蔵庫を整備したことにより、安心して多くの食材を長期保存できるようになった。	1,265,000	1,265,000	R2.11.20	R3.1.13
58	給食センター整備事業	通常は稼働していない夏場の給食センターで、児童、生徒の夏季登校時における給食調理の際の衛生面の管理や職場環境改善、食の安全を確保するため、給食センター職員の調理服等を整備する。	給食センター	○スポットクーラー整備数 1台 ○調理服等整備	新型コロナウイルス感染症対策で臨時休業により夏休み期間中の一部が登校日となり給食を提供することとなったが、給食調理の際にスポットクーラーと通気性の良い調理服等の活用により、職場環境改善、食の安全を確保することができた。	338,239	338,239	R2.7.29	R2.8.24
59	総合コミュニティセンタートイレ改修事業	飛沫拡散防止のため、総合コミュニティセンターの和式トイレを洋式トイレに改修する。	総合コミュニティセンター、保健相談センター	○改修箇所数 4箇所	従前は、少数の洋式トイレに利用者が集中していたが、既存の和式トイレを改修し、ウイルス拡散防止に有効な蓋付の洋式トイレを多数設置したことで、利用者が便器を分散して使用するようになり、衛生面が向上し、感染リスクを軽減することができた。	1,930,000	1,930,000	R2.12.21	R3.3.31
60	飛沫感染防止対策スクリーン設置事業	新型コロナウイルス感染症対策のため、図書館館内に飛沫防止スクリーンを設置し、ウイルス感染防止を強化する。	図書館	○飛沫スクリーン設置箇所数 12箇所	利用者が密集することが問題であったが、仕切りを設置することで、利用者が自発的に間隔を開けて座ようになり、コロナウイルス感染拡大防止やソーシャルディスタンスの確保につなげることができた。	979,000	979,000	R3.1.12	R3.3.5
61	除菌BOX購入事業	多くの利用者の手に触れる図書の消毒及び殺菌の徹底を図るため、紫外線による除菌BOXを設置し、返却された図書の殺菌を行う。	図書館	○除菌BOX整備数 1台	図書資料を除菌・消毒できるようになり、コロナウイルスの飛散防止に役立ち、図書館職員と利用者が安心して図書資料を取り扱うことができるようになった。	280,500	280,500	R2.11.17	R2.12.18
62	総合コミュニティセンター電動スクリーン更新事業	各種講演会、研修会における3密対策として、現在使用しているスクリーンを更新し拡大することで、来場者のスペース確保につなげウイルス感染防止を図る。また、避難所を運営する職員、自治会長等に対するコロナ禍における避難所運営研修会等にも活用する。	総合コミュニティセンター	○総合コミュニティセンターにスクリーンを設置	従来より大きなスクリーンを設置したことで、発表会や研修会の際に、広範囲に座席を配置しても映像を見ることができるようになった。これにより、コロナウイルス飛散に対し、ソーシャルディスタンス確保ができた。利用者からの評価も上々である。	561,880	561,880	R2.11.24	R3.1.6
63	中学校体育館トイレ改修事業	飛沫拡散防止のため、和木中学校体育館の和式トイレを洋式トイレに改修する。	和木中学校体育館	○改修箇所数 1箇所	和式トイレを洋式トイレに改修することで、衛生面が向上し、感染リスクを低減することができた。	499,455	499,455	R2.11.12	R2.12.9

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証結果一覧

No	事業名	事業概要	対 象	実 績	効果・検証	総事業費 (円)	交付金 充当額(円)	事業期間	
								開始日	完了日
64	小学校教育振興事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止予防の観点から小学校音楽の授業で合唱、鍵盤ハーモニカ、リコーダーなど呼吸を使う楽器の演奏や密になる活動を避けて授業をしており、通常の形態で授業が行えていない状況である。デジタル教科書を購入し、写真や楽譜、動画の機能を活用し、電子黒板に映写することで歌唱や演奏の授業補う。	和木小学校	○小学校音楽デジタル教科書整備数 5学年(2年生～6年生)	デジタル教科書内の音源教材を再生することで、楽器の演奏や歌唱時における飛沫感染等を防止し、感染リスクの低減に寄与した。	365,750	365,750	R2.5.26	R2.11.9
65	医療機関等事業継続応援給付事業	患者の受診控えにより経営に影響が出ている医療機関及び感染後重度化のリスクが高い高齢者へのサービス提供を行っている介護保険施設に対し、医療介護提供体制の継続及び維持を図るため、また感染リスクを伴う医療介護従事者を応援するため給付金を支給する。 ○診療所、特別養護老人ホーム 500,000円/事業所 ○歯科医院 300,000円/事業所 ○薬局 250,000円/事業所	町内の医療機関、特別養護老人ホーム、歯科医院、薬局	○診療所給付件数 2件 ○特別養護老人ホーム給付件数 1件 ○歯科医院給付件数 2件 ○薬局給付件数 3件	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた医療機関等の資金繰りの一助となった。	2,850,000	2,850,000	R2.10.1	R2.12.31
66	道路台帳電子化事業	道路台帳に係る業務の適正化及び効率化を図るとともに行政IT化を促進するため、道路台帳をデジタル化する。デジタル化により、業者との窓口等での接触機会の低減を図ることで感染リスクを回避する。	和木町	【繰越明許】 ○道路台帳のデジタル化を実施	道路台帳のデジタル化により、業者との窓口等での接触機会の低減が図られ、感染リスクを低減することができた。	7,590,000	7,590,000	R2.11.5	R3.8.10
67	電動自転車購入事業	脱炭素社会を促進するとともに、公用車での移動による職員の3密を回避するため電動自転車を購入し、町職員の町内での移動に活用する。	和木町	○電動アシスト自転車整備数 2台	町内の移動に十分活用されており、温室効果ガスの抑制と移動時の密の解消につながった。	237,600	237,600	R2.12.25	R3.1.20
68	広報用公用車購入事業	ハイブリッド自動車を購入し脱炭素社会を促進する。また3密を避けるため避難所の分散化を図る必要がある。避難所数が増えるため、車両を増やすことで避難所への移動時の職員の3密を回避するとともに、新型コロナウイルス感染症に関する町民への広報活動等に活用する。	和木町	○ハイブリッド自動車整備数 1台	車両の増加により、移動時の密の解消につながった。 広報活動に使用でき、ハイブリッド自動車であるため、温室効果ガス排出の抑制につながっている。	2,574,000	2,574,000	R2.12.28	R3.3.12
69	ごみ収集事業事業継続応援給付事業	感染リスクの高いごみ収集業務を行っている事業者を応援し、また事業の継続及び維持を図るため給付金を支給する。	ごみ収集事業者	○給付事業所数 1事業所	家庭ごみ収集業務事業者並びに収集従事者に対して、感染リスクの低減及び業務継続の一助となった。	500,000	500,000	R2.11.4	R3.1.5
70	妊婦への特別定額給付金交付事業	令和2年度の妊婦に対し10万円の給付金を支給し、経済的な支援を行う。	令和2年度中に母子手帳を交付した妊婦で、和木町新生児特別定額給付金の給付を受けていない者	○給付件数 52人	コロナ禍における妊婦の感染予防及び胎児の健やかな成長における経済的支援の一助となった	5,300,000	5,200,000	R2.10.27	R3.3.31
71	庁舎トイレ改修事業	飛沫拡散防止のため、役場庁舎の和式トイレを洋式トイレに改修する。	役場庁舎	○改修箇所数 6箇所	和式トイレを洋式トイレに改修することで、衛生面が向上し、感染リスクを低減することができた。	696,000	696,000	R2.12.21	R3.2.17
72	和木町総合福祉会館トイレ改修事業	飛沫拡散防止のため、総合福祉会館の和式トイレを洋式トイレに改修する。	総合福祉会館	○改修箇所数 4箇所	和式トイレを洋式トイレに改修することで、衛生面が向上し、感染リスクを低減することができた。	288,000	288,000	R2.12.21	R3.3.31

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証結果一覧

No	事業名	事業概要	対 象	実 績	効果・検証	総事業費 (円)	交付金 充当額(円)	事業期間	
								開始日	完了日
73	総合コミュニティセン タートイレ改修事業	飛沫拡散防止のため、総合コミュニティセンター及び保健相談セ ンターの和式トイレを洋式トイレに改修する。	総合コミュニティセンター、保 健相談センター	○改修箇所数 4箇所	従前は、少数の洋式トイレに利用者が集中して いたが、既存の和式トイレを改修し、ウイルス拡 散防止に有効な蓋付の洋式トイレを多数設置し たことで、利用者が便器を分散して使用するよ うになり、衛生面が向上し、感染リスクを軽減す ることができた。	765,000	765,000	R2.12.21	R3.3.31
74	新型コロナウイルス対 策バス・タクシー感染拡 大防止支援事業	町内の交通を担う事業者へ感染拡大防止対策のための支援を 行う。	交通事業者	○助成事業者数 1事業者	コロナ禍で利用者が減少した町内交通事業者 (バス・タクシー事業)への資金繰りの一助と なった。	300,000	300,000	R3.2.12	R3.3.5
75	Web会議システム導入 事業	新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、Web会議システ ムを導入する。	和木町	○Web会議システムの導入(ノートパソコン3台、 周辺機器を含む)	Web会議システムの導入により、感染リスクのな い状態で外部や遠方の相手との会議等が実施 可能となった。	1,199,000	1,198,000	R3.3.12	R3.3.31
76	学校・文化施設等検温 体制整備事業	町立学校教育施設等に通う児童、生徒及び町立文化施設に来 館する者に対し、検温体制を整備することにより、新型コロナウ イルスの感染拡大防止を図る。	町立学校教育施設、町立文化 施設	○対象施設数 11施設 ○体温計測用機器整備数 20台	学校施設等に検温できる体制を整備したこと により、発熱者の把握を簡易に行えることができ ようになり、新型コロナウイルスの感染拡大防 止を行うことができた。また、児童生徒等に対 しても、検温することが大事であることの意識付 けに繋がった。	1,166,000	1,100,000	R3.2.10	R3.3.5
77	小学校GIGAスクール端 末設定事業	児童や教員等が学校・自宅で使うGIGAスクール端末の設定経 費	和木小学校	○設定端末数 448台	1人1台の児童・教員用端末が整備できたこと により、ICTを活用した学習環境を整えること ができた。また、新型コロナウイルス等による 臨時休校に対応する体制づくりを加速させるこ うができた。	1,463,000	1,463,000	R3.2.9	R3.3.30
78	中学校GIGAスクール端 末設定事業	生徒や教員等が学校・自宅で使うGIGAスクール端末の設定経 費	和木中学校	○設定端末数 200台	1人1台の生徒・教員用端末が整備できたこと により、ICTを活用した学習環境を整えること ができた。また、新型コロナウイルス等による 臨時休校に対応する体制づくりを加速させるこ うができた。	649,000	649,000	R3.2.26	R3.3.30
79	文化会館個別空調機設 置事業	文化会館2階の面接相談室と商工指導室に個別空調機を設置 することで、利用者及び利用団体が容易に空調機の恩恵を受 け、また、ゆとりあるスペース確保や3密を避け、ソーシャルディ スタンスの確保につなげる。	文化会館	○空調機整備台数 2台	個別空調機を設置することで、利用可能な部屋 数を増やし、また、WEB会議や各種控室など の新たな利用につなげ、感染拡大防止や施設 の有効利用、ソーシャルディスタンスの確保 ができた。光熱費でのメリットも大きかった。	1,296,141	1,296,141	R3.2.25	R3.3.30
80	給食センターガス湯沸 器改修事業	給食センター下処理室の手洗い場は2か所あり、温水が出るの は1か所のため、冬場は温水が出る手洗い場に調理員が密集 する。ガス湯沸器を新たに設置し、3密回避対策及び手洗いの 徹底を図る。	給食センター	○ガス湯沸器整備数 1台	温水が出る手洗い場を増設したことにより、蜜を 避けながら、しっかりと手洗いができるよう になり、感染リスクを低減することができた。	122,100	122,100	R3.2.22	R3.3.31
81	蜂ヶ峯総合公園観光案 内看板改修事業	町の観光資源である蜂ヶ峯総合公園の案内看板(大竹IC入口付 近に設置)を改修し、観光客の誘致を図り、地域活性化につなげ る。	和木町	○看板設置箇所数 1箇所	案内看板を改修することで、観光客の誘致が図 られ、地域活性化につながった。	165,000	165,000	R3.3.2	R3.3.31
						146,344,956	142,937,000		